



今回は、『骨粗鬆症治療の薬剤』についてご紹介します。

今回は、『骨粗鬆症治療の薬剤』についてご紹介します。

骨粗鬆症のメカニズムとして、今回は「骨吸収」(破骨細胞)が骨を吸収する働きと「骨形成」(骨芽細胞が新しく骨を作る働き)について説明しましたが、骨粗鬆症の薬剤は、それぞれの働きに関与することで骨密度や骨質を改善します。



1 「骨吸収」を抑制する薬剤

(1) SERM(選択的エストロゲン受容体作動薬)

【効能】前回お話しした「閉経後骨粗鬆症」(女性ホルモン<エストロゲン>の減少による破骨細胞の活性化に伴い骨密度が低下)に対し、エストロゲンの働きを補います。

【用法】内服(1日1回)

【特徴】・骨密度の上昇効果は緩やかですが、骨質改善により骨折を抑制する可能性が報告されています。
・長期投与可能かつ安価です。

(2) ビスホスホネート製剤

【効能】破骨細胞に取り込まれることで骨吸収の働きを低下させます。

【用法】内服：1日1回、週1回(ゼリー剤あり)、月1回
点滴：月1回、年1回

【特徴】

- ・昔から使用されていて、安価で最も一般的です。
- ・内服や注射薬など様々な種類があり、生活スタイルに合わせた薬剤選択が可能です。
- ・長期投与による効果の頭打ちや副作用の懸念もあり、5-10年程度での薬剤変更が望ましいとされています。

(3) 抗RANKL抗体

【効能】破骨細胞を活性化する蛋白質を阻害することで、骨吸収を抑制します。

【用法】皮下注射(6か月に1回)

【特徴】

- ・ビスホスホネート製剤よりも骨吸収の抑制が強力です。
- ・少なくとも8年間は骨密度を上昇させるという報告があり、長期投与が可能です。

2 「骨形成」を促進する薬剤

(1) PTH(副甲状腺ホルモン)製剤

① テリパラチド

【効能】骨芽細胞(骨を作る細胞)を活性化することで骨密度を増加させます。

【用法】自己注射(自宅で注射。1日1回、週1-2回)
※投与期間は**2年間のみ**

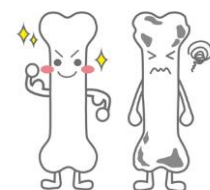
【特徴】骨吸収抑制薬と比較すると高価ですが、高い骨折抑制効果が報告されています。

② アバロパラチド

【効能】①のテリパラチドより**短期間**で骨密度上昇効果が得られます。

【用法】自己注射(1日1回)
※投与期間は**1年6か月**

○今年から使用できるようになりました。



(2) 抗スクロステチン抗体製剤

【効能】骨形成を阻害するスクロステチン(糖たんぱく質)を阻害することで骨形成を促進します。

【用法】皮下注射(病院で月1回) ※投与期間は**1年間**のみ

【特徴】・**今までにない効能を持つ**新しい薬剤です。

・比較的高価ですが、骨吸収抑制薬と比較し、高い骨密度上昇効果および骨折抑制効果が報告されています。



3 その他の薬剤



(1) ビタミンD製剤

【効能】腸からのCaの吸収を増加させる作用などにより、骨量を増加させます。

【用法】内服 (1日1回)

【特徴】骨密度上昇効果に加え、転倒予防の効果が報告されています。

1・2で紹介した薬剤と合わせて処方される場合があります。



まとめ

骨吸収抑制剤 (前頁『1 「骨吸収」を抑制する薬剤』) より**骨形成促進薬** (前頁『2 「骨形成」を促進する薬剤』) の方が、**骨密度上昇効果**および**骨折抑制効果**が高いことが報告されています。

また、両方の薬剤を順番に使用する場合、1→2の順で使用する場合より**2→1の順に投与する**方が最終的に**骨密度が上昇する**報告があるため、骨折の危険性の高い重症骨粗鬆症に対しては、第一に**骨形成促進薬**を使用することが推奨されています。

最後に

効果の高い骨形成促進薬 (前頁『2 「骨形成」を促進する薬剤』) は全体的に高価で自己負担額が月**10,000~15,000円**の薬剤もあります。

これを医師から勧められその費用を提示されると、躊躇してしまうこともあるかと思います。

しかし、実際に転倒して大腿骨近位部骨折し手術となった場合、**手術費・入院費**を含めると平均で**150万円程度**かかることが言われます。その後の介護費も含めると、さらに数百万円の費用が必要な場合もあり、**早期の骨粗鬆症検査、治療による骨折予防が重要**と考えています。

対象年齢の方(石巻市では40,45,50,55,60,65,70歳の女性)は、**必ず骨粗鬆症検診を受けましょう!!**



当院の骨粗鬆症外来
【毎週火曜日 予約・紹介制】



市立病院の給食を紹介します！



おにぎり 2種

(さつま芋・ごま塩)

おかず盛り合わせ

(焼きます、唐揚げ、

玉子焼き)

芋煮風煮物

かぼちゃの白和え

りんご

牛乳

10月の行事食メニューを
紹介します！

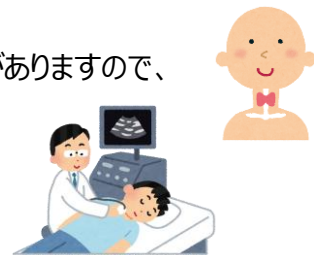


紅葉膳

当院の甲状腺外来では、甲状腺をはじめとする内分泌疾患全般の診断及び治療を行っております。
 高血圧や糖尿病、脂質異常症、肥満症も対象となります。

健診において上記のことを指摘された場合、ホルモンに関連した異常の可能性がありますので、
 ぜひご相談ください。

外来では、甲状腺超音波（エコー）検査（甲状腺穿刺細胞診を含む）、
 採血・採尿、CTやMRI検査を行い、内分泌異常の診断・治療を行います。



【担当医師：東北医科薬科大学病院 山形 聡】

主な対象疾患

- ・甲状腺疾患
 (バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎、甲状腺腫瘍)
- ・副腎疾患
 (原発性高アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎不全)
- ・副甲状腺疾患 (カルシウム・リン代謝異常)
- ・間脳下垂体疾患
 (下垂体腫瘍、下垂体炎、下垂体機能低下症)
- ・性腺機能異常
- ・骨粗鬆症

診療日・受付時間

毎週木曜日（休日除く）午後1時～3時
【完全予約制】
 ※他の医療機関からの紹介状と予約が必要です。
 (健康診断の二次検査の場合は紹介状不要)

問い合わせ・予約受付

TEL 0225-25-5555 (代)
 ※予約の際は「**甲状腺外来の予約**」とお伝えください。
【窓口】
 ・健康診断の二次検査の場合：医事課
 ・他の医療機関からの紹介：地域医療支援センター

2024.11.6 石巻市立病院院内コンサート

11月6日（水）に市立病院2階エントランスホールにて、院内コンサートが開催されました。
 エルガーの『愛の挨拶』などのクラシックから、童謡や演歌、『笑点のテーマ』といった耳馴染み
 あるTVのテーマ音楽まで、幅広い曲目が披露され、癒しのひと時となりました。
 また、7階緩和ケア病棟でも、『愛の挨拶』と『G線上のアリア』の2曲を演奏いただき、入院
 患者様方に憩いの時間を感じていただけたことと思います。

【曲目】

1. 愛の挨拶 2. G線上のアリア 3. 笑点のテーマ
4. TAKUMI/匠～「大改造劇的ビフォーアフター」より/松谷卓
5. 津軽海峡・冬景色 6. 川の流れるように
7. 四季メドレー～花、夏の思い出、赤とんぼ、雪、ふるさと～
8. 荒城の月 9. 時代劇メドレー アンコール 夕焼け小焼け



☆お知らせ☆



マイナンバーカードで 保険証確認を！

当院では、マイナンバー
 カードでの保険証確認を
 行っています。
 受診の際には、忘れずに
 カードをお持ちください。

「人工関節手術相談外来」が始まりました！

ご自分に人工関節治療の適応があるかどうかの相談や、
 患者さんに合った治療方法の説明などを行います。

◀診療日・受付時間▶
 毎週水曜 午前8時～11時
【完全予約制・紹介状不要】

担当：地域医療支援センター
 TEL 0225-25-5555 (代)
 ※予約の際は「**人工関節外来
 の予約**」とお伝えください。

